

新潟県立柏崎特別支援学校
令和元年度 職業教育シラバス
～高等部を中心とするシラバス～

1 教育目標

教育目標

あかるく かしこく たくましく

【教育課題】 一人一人のニーズに応じた生きる力の育成

＜病弱特別支援学校における生きる力＞

- ①明るさ (徳) : 発見、自分! (自己・他者理解、自己肯定感)→自信、やる気、思いやり
- ②かしこさ (知) : 工夫して! (得意なことやICTの活用)→自己選択・決定、主体性
- ③たくましさ (体) : トライ!くじけず! (自己管理能力、気力と体力)→自己実現

＜努力事項＞

- ① - 1 児童生徒の病気の特性に応じた豊かな体験活動を取り入れた潤いのある学習活動を通して、自己理解を深め充実感や達成感、自己肯定感を味わい生活全般への興味関心を高める。
- ② - 2 お互いの立場を認め、励まし合いながら協力する態度を育てる。
- ② - 1 ICTを活用しながら一人一人の実態に応じ、工夫した学習を積み重ねることを通して、「知識・技能」の定着と「思考力・判断力・表現力」を育成する。
- ② - 2 できることや得意なことを増やし、それを活用して、主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。
- ③ - 1 生命を尊重し、心身を健全に保持するために必要な態度や技能、生活習慣(自己管理能力)を身に付ける。
- ③ - 2 目的を明確にして、最後までやり通す気力と体力を養う。
- ③ - 3 職場体験や校外学習を通してキャリア教育の充実を図り、自己実現をめざす。

【目指す方向】 関係機関との連携と地域への貢献を通し、
子どもたちに夢や希望を与える病弱特別支援学校

ア 関係機関との連携と
地域への貢献

◎教育・医療・福祉等と連携し、児童生徒の確かな学びと豊かな成長を保障する学校

- 他病弱特別支援学校・学級、新潟病院他の医療機関、市福祉保健部、支援機関等との連携
- 短期入院生への学習支援、不登校児・発達障害児への支援

イ 子どもたちに夢や希望を与える

◎病気や障害及び特性の理解に基づいた個に応じた教育により、「夢や希望」に向かって努力する力を育てる学校

- 体験活動、ICT等の活用による社会性の向上及び可能性の発見と伸長
- 病気や障害や発達段階に応じた自分を知り対人関係を高める指導・支援
- 発見・楽しさ・うれしさのある活動

2 学校経営の方針

「はじめに子どもありき」～ 建学の精神を引き継ぎ ～

子どもたちの笑顔かがやく

夢と希望と感動あふれる 病弱特別支援学校

- ◎ 当校建学の精神を教育の原点とし、「はじめに子どもありき」を全ての教育活動の基本に置き、「自己存在感や感動を与える病弱特別支援学校」を目指す。

病気や障害により治療や生活規制が必要な子どもたちは、入院生活を送りながら特別支援学校に通ったり、小中学校等で支援を受けながら学校生活を過ごしたり、自宅療養を続けたりしている。このような状況の中で、病状等に応じた必要な支援や配慮が十分に行われない子どもや、教育を受けることさえできない子どもたちもいる。

当校の使命は、これらの子どもたちに、教育の機会を保証し、豊かな成長と確かな学びを保障することである。この使命を果たすために、子どもたちの「自己肯定感・自己効力感」と「意欲・興味関心」を向上させ、地域に貢献し、「子どもたちに夢や希望を与える学校」に向かって歩み続ける。

- ◎当校がこれまで蓄積してきた教育財産を継承し、「目指す方向」の実現に向け、今年度は2つの重点と9の具体的方策を定め、学校経営に取り組む。

【今年度の重点と具体的方策】

重点	具 体 的 方 策
専門性の向上	(1) 実践事例の発表、研修会等における情報発信（実践の共有） (2) 新学習指導要領への対応（授業実践、年間指導計画の改定） (3) 医療的ケアの実施、短期入院生の学習支援に関わる指導力の向上 (4) 先進校視察等による実践事例の活用、大学との連携による支援の充実
	(1) 交流及び共同学習の推進（ICTの活用） (2) 地域行事への参加、学校行事等への来校者の参画 *スポーツフェスティバル、三つ葉祭他への協力・支援依頼 (3) インターネット等の活用による学校のPR活動と活性化 (4) 「アドバンス」、「発達障害通級指導教室」による地域貢献 (5) 病弱教育機関と医療機関等との連携強化（学術集会の企画・運営）

3 学部経営

小学部		学部目標：「好きなことを見つけよう」
指導の重点	目指す姿	
○健康の保持 ○人と関わる力の向上 ○自己理解	・ 基本的な生活習慣を身に付け、一日のリズムが安定している。	
	・ 言葉や表情、身振り、様々な機器等を用いて意思のやりとりを行うことができる。	
	・ 一人一人の特性や発達段階に応じて、他者の意図や感情を理解し、場に応じた行動をとることができる。	
	・ つながりや所属感、協力する気持ちをもつことができる。	
	・ 様々な体験活動を通して、視野を広げ、達成感をもつことができる。	
		・ 自分の得意なことや苦手なこと、自分の行動の特徴などに気付くことができる。
中学部		学部目標：「トライ！チャレンジ！見つけよう自分」
指導の重点	目指す姿	
○健康の保持 ○人と関わる力の向上 ○自己理解	・ 基本的な生活習慣を整え、心が元気になったり心地良く感じたりすることができる。	
	・ 心身の状態に応じて、働き掛けを受け入れることができる。	
	・ 働き掛けに対して応答ができ、その応答の量や質や精度を高めることができる。	
	・ 人、もの、事象との関わりや社会とのつながりを広げたり深めたりする活動を通して、喜びや成就感・自己肯定感を高めることができる。	
	・ 一人一人の発達段階や特性に応じて、人との関わり方を学びながら、良好な関係を築く力を付けることができる。	
		・ 様々なことを体験し、自分への新たな気づきを広げることができる。
		・ 知り得た自分を基に、中学部卒業後の進路を考えることができる。
高等部		学部目標：「よりよい自分 なりたい自分」
指導の重点	目指す姿	
○健康の保持 ○人間関係の形成 ○自己理解	・ 基本的な生活習慣を整え、興味関心の幅を広げるなど、生活の充実を図ることができる。	
	・ 働き掛けを受け入れ、応える力を高めるようとする。	
	・ 他者からの働き掛けに応じ、自らを向上させようとするすることができる。	
	・ 自分の特性、得意・不得意、興味関心、心身の状態などを理解することができる。	
	・ 自己理解を深め、物事への適切な対処の仕方、考え方が分かるようになる。	
		・ 体験を広げ、できることを増やしながら成就感や自己肯定感を高めるとともに、自分を大切にすることができる。
		・ 集団活動を通して人との良好な関係を築き、互いに認め合う気持ちをもつことができる。
		・ よりよい生き方について考え、進路に向かって自己選択・自己決定することができる。

4 令和元年度 高等部 職業教育 単元題材一覧表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全校行事 学部行事		入学式・始業式	全校朝会	スポーツフェスティバル・避難訓練・中間テスト	終業式		始業式・レク大会・県特体連スポーツ大会・介護等体験・高等部説明会①・期末テスト	全校集会・文化祭	愛育会コンサート・県弁論大会・高等部説明会②	中間テスト・終業式	始業式・避難訓練・立会演説会	期末テスト・卒進会	卒業式・終業式・離任式	
自立活動		自活オリエンテーション・計画作り	自活オリエンテーション・計画作り	各自が決めた課題に向けて取り組む 集団自立活動				思春期講座			集団ゲーム		振り返り 集団ゲーム	
教科 中心 コース	3年	総合的な学習の時間	障害・自己理解について	携帯マナー講座	先輩の話を聞く会	携帯マナー講座		思春期講座	意見発表会	ボランティア	ボランティア	ボランティア		
		進路課題研究	進路実現への道筋の確認				入試・面接対策	卒業後の過ごし方の確認・スキルアップトレーニング						
	2年	総合的な学習の時間	障害について 修学旅行事前	修学旅行事後 学習	先輩の話を聞く 会	学校見学計画 ネットマナー講 座		思春期講座	意見発表会	ボランティア		学校見学	学校見学、卒業後の進路について の まとめ	
		進路課題研究	各種資格検定試験へ向けた学習・作業学習				各種資格検定試験へ向けた学習・作業学習							
	1年	総合的な探究の時間	障害について オリエンテーション		先輩の話を聞く 会 学校調べ	ネットマナー講座		思春期講座	意見発表会	ボランティア	ボランティア	修学旅行事前 学習		
		進路課題研究	エンカウンター ストレスマネジメント					市役所実習 職業・大学調べ	学校見学			エンカウンター ストレスマネジメント		
社会 自立 コース	全学年	総合的な学習の時間 総合的な探究の時間	障害について	ネットマナー講座	先輩の話を聞く会 (進学編)		先輩の話を聞く会 (就職編)	県弁論大会 職業講話		1年ボランティア	1年ボランティア	2年ハローワーク見学		
		作業学習	①オリエンテーション ②作業班ごとの活動(農業班・リサイクル工業班・製作事務作業班) ※生徒の実態に合わせて柔軟に変更を加える ③振り返り・反省会				①オリエンテーション ②作業班ごとの活動(農業班・接客物流班・製作事務作業班) ※生徒の実態に合わせて柔軟に変更を加える ③振り返り・反省会				①オリエンテーション ②作業班ごとの活動(清掃班) ※生徒の実態に合わせて柔軟に変更を加える ③振り返り・反省会			
	3年	職業生活	オリエンテーション 3年時の実習の心 構え	職場体験実習及び 作業所体験	実習の振り返り	接客・清掃・介護等の練習	アセスメント実習(7~ 10月の間に数週間)	自分についてまとめ る・履歴書を書く	面接の受け方	社会人としての心 得・働くために必要 なスキル	メンタルヘルス	社会人としての心 得・働くために必要 なスキル	職場定着に向けた心構え	一年間の振り返り 卒業後の生活と 休日の過ごし方
			※実習がない日は、接客・清掃・介護、リサイクル作業等の練習及び労働ハンドブックを基本にした学習											ハローワーク見学
2年	オリエンテーション 2年時の目標	職場体験実習及び 作業所体験	作業所支援員さん から働き方を学ぶ	実習の振り返り	※実習がない日は、接客・清掃・介護、リサイクル作業等の練習及び労働ハンドブックを基本にした学習								ハローワーク見学	一年間の振り返り
1年	オリエンテーション 連絡と報告 ストレスマネジメント	働くということ 作業所について	事務補助・接客・清掃・介護等の練習 社会人としての心得・働くために必要な スキル								振り返りとまとめ ボランティアから働く 意味を考える	作業所見学及び 職場見学	一年間の振り返り	
生活 自立 コース	全学年	総合的な学習の時間 総合的な探究の時間	障害について	先輩の話を聞く 会	公共交通機関を 利用しよう		公共交通機関・ 施設を利用しよ う	意見発表会			修学旅行事前 学習	修学旅行事前 学習	修学旅行事前 学習	
		進路課題	個々の進路課 題	楽しい企画を考 えよう	校外学習に行こ う	個々の進路課 題	個々の進路課 題	校外学習に行こ う	楽しい企画を考 えよう		卒進会をしよう	卒進会をしよう	個々の進路課 題	
		作業学習	園芸 手芸 清掃				園芸 手芸 清掃							
		生活単元	はじめまして	野菜や草花を育 てよう	乗り物に乗ろう 買い物しよう	七夕をしよう 夏の生活	お月見をしよう 虫や植物を観察し よう	収穫祭をしよう 秋を見つけよう	秋の生活 みんなで遊ぼう	クリスマス 手紙を出そう		お正月を楽しも う 豆まき	節分 冬の生活	卒業進級 みんなで遊ぼう
訪問 コース	全学年	総合的な学習の 時間(担任)	障害について 修学旅行事前学 習(2年生)	修学旅行(2年生)	修学旅行事後学習 (2年生) 先輩の話を聞く会			意見発表会	文化祭		旅立ちメッセージ・ 送る言葉作成	旅立ちメッセージ・送る 言葉作成/修学旅行事 後学習(1年生)	旅立ちメッセージ発表/ 修学旅行事後学習(1 年生)	
		生活単元	野菜を育てよう (通年)		乗り物に乗ろう	七夕をしよう 夏の生活	お月見をしよう 秋を見つけよう	ハロウィン 乗り物にのろう 買い物しよう	秋の生活 収穫祭をしよう	クリスマス 年賀状を書こう	お正月を楽しもう 筆に親しむ	節分 冬の生活	卒業・進級に向けて	

5 高等部 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間

指導の重点	評価項目
○「社会人として人とよりよく関わって生きる『自分』の創造」のための実践的な知識の習得や課題解決能力及び態度を養う。	・生徒の希望、適性、実態に合った活動を行う。

活動計画（35 時間） 活動内容は、生徒の実態を考慮し計画・実施する。

○全体

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> ○全体オリエンテーション ○学校生活の決まり ○「障害」について ○携帯マナー講習会 ○柏崎常盤高校交流会① ○先輩の話を聞く会 	<ul style="list-style-type: none"> ○意見発表会 ○柏崎常盤高校交流会② ○職業講話 ○先輩の話を聞く会 ○模擬選挙体験 ○弁護士と学ぼう ○性教育 	(各学級やコースで行う)

○各コース

・教科中心コース

	1 年	2 年	3 年
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 学校調べ 職業適性 職業適性検査 ○市役所実習 事前学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 職業調べ 職業適性検査 学校見学等 ○修学旅行事前・事後学習 見学先調べ しおり作り 旅行のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 オープンキャンパス参加 スケジュール作り 面接練習 AO エントリーシート 大学体験授業、交通手段 ○ボランティア活動 ボランティア調べ 校内ボランティア
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 学校調べ 学校見学（大学、専門学校） 工場見学 ○市役所実習 事前事後学習 交通機関の利用 ○意見発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 学校見学（大学、専門学校） 職場体験 ○思春期性教育講座 ○意見発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 学校見学（大学、専門学校） 面接指導、進路先との引継 ○ボランティア活動 校外ボランティア ○意見発表会
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動 赤坂山デイサービス ○修学旅行事前学習 校外学習 交通機関の利用 見学先調べ 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 学校見学 興味ある仕事について 資格 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 卒後の生活について （通学、住居、バイトなど） ○卒業に向けて ○社会人マナー講座

・社会自立コース

	1年	2年	3年
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 校外学習 ○高等部の学習・生活をスタートするにあたって ○市役所実習事前学習 ○交流活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 校外学習（作業所、施設、工場見学等） ○修学旅行事前・事後学習 見学先調べ しおり作り 旅行のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○接客マナー講習会 ○求職説明会 ○進路学習 校外学習（自動車学校、施設見学・利用等）
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 校外学習（買い物体験、公共交通機関利用体験、外食体験） ○市役所実習事前事後学習 ○ボランティア体験 ○意見発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 校外学習 職業講話 ○思春期性教育講座 ○意見発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 卒業に向けて 校外学習 面接練習 ○意見発表会
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○修学旅行事前学習 校外学習 交通機関の利用 見学先調べ ○ボランティア体験 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 校外学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路学習 卒業に向けて 校外学習 ○社会人マナー講座

・生活自立コース

	1年	2年	3年
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○高等部生活に慣れる ○交流活動 ○校外学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流活動 ○校外学習 余暇活動 施設見学、施設体験 ○修学旅行事前・事後学習 見学先調べ しおり作り 旅行のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流活動 ○校外学習 余暇活動 施設見学、施設体験 ○卒後に向けて
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○交流活動 ○校外学習 余暇活動 施設見学、施設体験 ○意見発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流活動 ○校外学習 余暇活動 施設見学、施設体験 ○思春期性教育講座 ○意見発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流活動 ○校外学習 余暇活動 施設見学、施設体験 ○卒後に向けて ○意見発表会
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○交流活動 ○修学旅行事前学習 校外学習 交通機関の利用 見学先調べ 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流活動 ○卒後に向けて ○社会人マナー講座

6 高等部 各教科

指導の重点	評価項目
生活単元学習	
<p>○様々な体験活動を楽しむことを通して、生活経験を広げ、人や物に関わる力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が興味・関心をもって取り組めるよう指導内容や学習形態、教材教具を工夫する。 ・児童生徒の実態に応じて、本物に触れる活動や社会体験活動を行う。 ・集団での遊びや共同制作などを通して、人や物と関わる場を設定する。
作業学習	
<p>○将来の社会自立を目指して、働くための基礎的な力を身に付けたり高めたりする。</p> <p>○活動を通して、仕事をする喜びや達成感、成就感を味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズを踏まえ、生徒の実態に合わせた作業種を設定する。 ・職業技能検定の受検も視野に入れて、活動内容を設定する。(清掃等) ・就労に必要な挨拶や報告、コミュニケーションを身に付けられるように活動場面を設定する。 ・活動手順表や補助具などを工夫したり、環境を整えたりする。
職業生活・進路課題	
<p>○働くことの意義を理解し、職業生活に必要な能力や態度を育てる。</p> <p>○将来の職業生活や社会自立を目指し、働く力や生活する力を身に付け、よりよい生活を想像し意欲的に取り組めるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「働く」というテーマで様々な人々から話を聞き、働く意義や働き方を考える機会を設定する。 ・自分の将来のよりよい生活を考え、意欲的に実習や体験に取り組むことができる。 ・職場に必要なマナーやコミュニケーションを学び、市役所実習、工場見学、職場体験実習等で力を発揮することができる。

7 キャリア教育全体計画

【学校教育目標】 明るく かしこく たくましく

【学校経営方針】	【目指す児童生徒像】	【本人・保護者の願い】
<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに子どもありきを全ての基本に ・地域に求められる病弱教育の充実・発展 ・個に応じた指導の充実 ・病弱教育における心の問題に取り組む ・地域におけるセンター的機能の発揮 ・社会参加する力を育むキャリア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい心、思いやりの心をもった子 ・自ら課題を見つけ、自ら考え、行動する子 ・病気の改善・克服などに前向きに取り組む子 <p>★一人一人のニーズに応じた生きる力の育成を通じて上記の生徒像を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた分かりやすい授業 ・自立した生活 ・病気や障害による困難の克服 ・地域・社会とのよりよい関わりと心豊かな生活 ・関係機関と連携した地域・社会生活



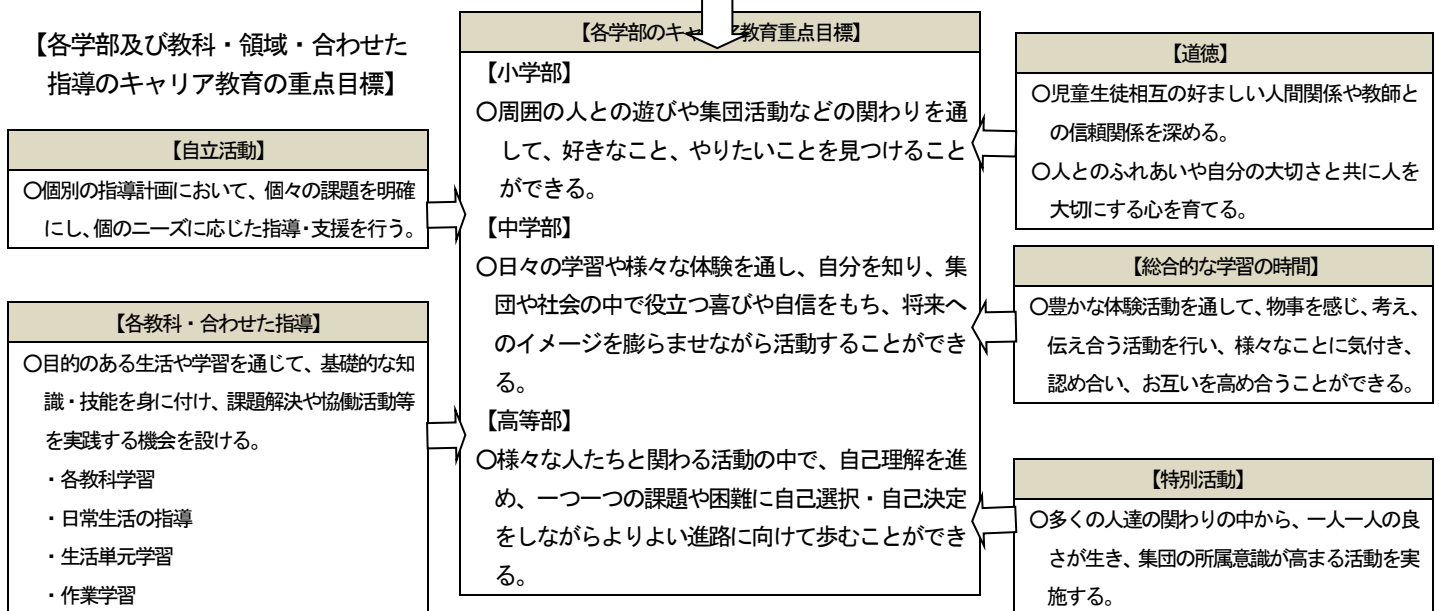
学部目標【小学部】	学部目標【中学部】	学部目標【高等部】
好きなことを見つけよう	トライ！ チャレンジ！ 見つけよう自分	よりよい自分 なりたい自分



【 キャリア教育の全体目標 】
 ライフステージや発達段階に応じた個別の課題や自己の役割を果たそうとする意欲や力を身に付け、社会参加と自立、豊かな生活の実現を図る



育みたい能力（基礎的・汎用的能力） ※小・中・高の連携			
人間関係形成能力	自己理解・自己管理能力	課題解決能力	キャリアプランニング能力
○人との関わりに関心をもち、意思を伝えたり、他者や社会を受け入れたりしながら、自ら役割を果たし、社会参加する力	○自分のよさや自分らしさに気付き、自分の行動や内面を振り返りながら、主体的に行動を調整する力	○人・物・事柄に対する関心を深め、知識・技能を活用して主体的に課題解決に取り組む力	○未来への夢や希望をもちながら、自ら判断し、選択して、自分らしい生き方で歩み続ける力



キャリア教育推進の基盤					
専門性の向上	保護者との連携	地域との連携	関係機関との連携	校内の組織づくり	啓発活動
<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、主体的な活動を促す具体的な支援の方法 ・児童・生徒の思いを育てるキャリアカウンセリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路研修会 ・連絡帳の活用 ・各種便り ・二者・三者面談 ・ケース会議、支援会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事への参加 ・交流・共同学習 ・地域資源の活用 ・居住地交流 ・同世代交流 ・ボランティア活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉、医療、労働機関との定期的な情報交換 ・在籍校との連携 ・支援会議の開催 ・計画・一般相談への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体推進計画 ・全体学習計画 ・学部、学年、校務分掌間の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校HPによる発信 ・関係会議等による活動 ・リーフレットの配布 ・進路便りによる発信

■小・中・高が連携して支援を行うキャリア発達の段階的な内容 ※これらの内容を児童・生徒一人一人の発達段階に合わせて個別指導計画に取り入れて支援を進める。

キャリア発達の段階	I段階(小学部)	II段階(中学部)	III段階(高等部)
基礎的・汎用的能力	生活及び職業にかかわる基礎的な能力獲得の時期	生活及び職業にかかわる基礎的な能力を土台に、それらを統合して働くことに応用する能力獲得の時期	卒業後の家庭生活及び職業に必要な能力を実際に働く生活を想定して具体的に適用するための能力獲得の時期
人間関係・社会形成能力 人との関わりに関心をもち、意思を伝えたり、他者や社会を受け入れたりしながら、自ら役割を果たし、社会参加する力 ★関わる力	●日常生活に必要な意思の表現 ●大人や友達とのやりとりと集団活動への参加 ●挨拶、身だしなみの習慣化 ●家庭、学校生活に必要な習慣形成	●社会生活に必要な意思の表現 ●集団における役割の理解と協力 ●相手や状況に応じた言葉遣いや振る舞い ●家庭、学校生活、社会生活に必要な習慣形成	●必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力 ●集団(チーム)の一員としての役割遂行 ●TPOに応じた言動 ●社会生活や職業生活に必要な習慣形成
自己理解・自己管理能力 自分のよさや自分らしさに気づき、自分の行動や内面を振り返りながら、主体的に行動を調整する力 ★見つめる力	●自分の好きなこと、もの、良さへの気づき、友達の良さへの気づき ●周囲の支援を受けながら体調をコントロール ●気持ちの表出、言葉や自分なりの表現 ●身近な働く人への関心 ●自分が果たす役割の理解と実行	●達成感に基づく肯定的な自己理解、相手の気持ちや考え、立場の理解 ●周囲の支援を受けながらできる部分を自分で体調をコントロール(病気や傷害への理解と自己管理) ●感情のコントロール ●将来の夢や職業への憧れ ●自分が果たすべき役割の理解と実行	●職業との関係における自己理解、他者の考えや個性の尊重 ●周囲に必要な支援を依頼しながら自分で体調をコントロール(病気や障害への理解と自己管理) ●場に合わせて感情のコントロール、ストレスマネジメント ●社会とのかかわりや働く生活を中心とした新しい生活への期待 ●自分が果たすべき役割を理解し、主体的に実行
課題解決能力 人・物・事柄に対する関心を深め、知識・技能を活用して主体的に課題解決に取り組む力 ★やりぬく力	●地域社会資源の活用と身近なきまり ●課題解決のための選択肢の活用 ●家族の一員としての役割の実行 ●体験を通じた金銭の大切さの理解 ●活動の振り返り ●家庭、学校、地域など身の回りの様々な環境への関心 ●意欲的な活動への取組	●社会の仕組み、ルールを理解 ●課題解決のための選択肢の活用 ●様々な職業があることや働くことに関する体験的理解 ●消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費 ●活動場面での振り返りとそれを次に生かそうとする努力 ●進路をはじめ様々な情報の収集と活用 ●様々な学習活動への自発的な取組や工夫	●社会の様々な制度やサービスに関する理解と生活での利用 ●課題解決のための選択肢の活用 ●職業及び働くことの意義と社会生活において果たすべき役割の実行 ●労働と報酬の関係の理解と計画的な消費 ●職場体験学習、施設体験、学校見学等において行った活動の自己評価 ●社会生活や職業生活に必要な事柄の情報収集と活用 ●様々な学習活動への自発的な取組や工夫、改善
キャリアプランニング 未来への夢や希望をもちながら、自ら判断し、選択して、自分らしい生き方で歩み続ける力 ★夢おこす力	●目標への意識、意欲 ●遊び、活動の選択、広がり	●目標の設定と達成への取組、主体的な進路計画 ●自己の個性や興味・関心に基づいたよりよい選択 進路先に関する主体的な選択 ●自分の興味や関心に基づいた余暇活動	●将来設計や進路希望の実現を目指した目標の設定とその解決への取組 ●職場体験学習、施設体験、学校見学等における経験に基づく進路選択、個性や特性を考えた進路選択 ●将来設計に基づいた余暇の活用